

# ことわざ

や

藪から棒



藪から棒



「藪から棒を突き出す」の略。物事の仕方が出し抜けなことの喩え。唐突である様子。前触れや前置きがないこと。

や

病は気から



病は気から



病気は、気の持ち方（こころざし）で、重くもなるし軽くもなるということ。

ゆ

雪に白鷺



雪に白鷺



雪も白鷺も白色であるところから、見分け難いこと、また、目立たないことの喩え。

ゆ

油断大敵



油断大敵



油断は失敗の原因であるから、何よりも恐ろしい敵であるということ。

よ

欲に目が眩む



欲に目が眩む



欲望のために、正常の判断力を失って判断を誤まる。

よ

弱り目に祟り目



弱り目に祟り目



困った時に重ねて不運に遭うこと。不運の上に不運が重なること。

ら

楽は苦の種、  
苦は楽の種



楽は苦の種、  
苦は楽の種



苦は楽を、楽は苦をそれぞれそのうちに含み持っているということ。

ら

洛陽の紙価を高む



洛陽の紙価を高む



苦書（くしよ）が持て囃（はな）され、良く売れることの喩え。

